

LEGEND Travel Award 2026 レポート

横浜市立大学医学研究科生理学

博士課程 2 年 矢島綾乃

参加学会: NEURO 2026

第 49 回日本神経科学大会・第 69 回日本神経化学学会大会・第 36 回日本神経回路学会大会

この度は LEGEND Travel Award 2026 に当選させていただき、誠にありがとうございました。本アワードを利用して 2026 年 7 月 30 日～8 月 2 日にかけて神戸コンベンションセンターで開催された NEURO2026 に参加してまいりました。

4 日間、周りを見渡すと誰もが知っているような神経科学分野を代表する先生方が沢山おり、熱意ある研究者が集まる環境の中で、非常に密度の濃い時間を過ごすことができました。特に、「神経免疫研究の最前線：脳内マクロファージの多様性と治療標的としての可能性」のシンポジウムでは和氣 弘明先生や増田 隆博先生、Qingyun Li 先生、Rosa Chiara Paolicelli Paolicelli 先生方のお話に非常には感銘を受けました。ミクログリアやアストロサイトの機能異常がもたらす疾患の分子メカニズムを具体的に知ることができ、それらの研究をどう臨床応用していくかなどの展望についても拝聴することができました。村山 正宜先生の神経動態イメージングのご講演では、CBS Repository の活用によって神経活動のデータを全世界の研究者が参考にできることを知り、さらに神経活動地図だけでなく細胞種分子状態や神経回路、組織の情報など包括的に評価していく必要性を学ぶことができました。

また、私は今回若手育成道場の演題に採択していただき 30 分間、神経科学分野の第一線でご活躍されている著名な先生方に鋭くそして温かいフィードバックやコメントを沢山頂くことができました。頂いた一つひとつのコメントを無駄にせず、真剣に向き合い、よりよい研究内容そして研究者を目指したいと改めて強く思います。発表への準備期間も含め、一連の経験を博士課程の早い段階で積むことができたことは、研究者として成長するうえでとても大きな財産になったと感じています。

今年度は米国で開催される学会に参加する予定もあるため、BioLegend/Tomy Digital Biology 様のお陰で研究費の負担が軽減され、NEURO2026 にも参加することができました。学会を通して得た知識や研究への情熱、ご挨拶させて頂けた先生方とのご縁を今後の研究活動へ活かしてまいります。最後になりますが、学会参加にあたりご支援いただきました BioLegend Japan 株式会社様、Tomy Digital Biology 株式会社様には、心より厚く御礼申し上げます。

